



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)熱海ホテル計画	BEE	1	BEEランク	B+
					★★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1 /5		ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 /5		ふつつ		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9 /5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上	ふつつ 3点以上	がんばろう 3点未満

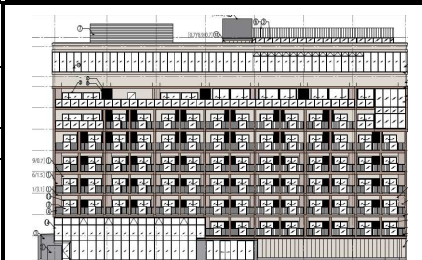
3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。							
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点		3.1			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>④外壁仕上げ材の補修必要間隔35年以上</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 ((⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥可能な限り多く緑を配置できるような外構植栽計画</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水器具の取入れ</li> <li>⑫再利用できる部材の取入れ</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 ((⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑮出来る限り多く緑を計画</li> </ul> </li> </ul>	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
				3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
			2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
			2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
			2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
			2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧	自然エネルギー利用	
		3			⑨	設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩	モニタリング	
			4.2		⑩	運用管理体制	
	LR-2	1	1.1		⑪	節水	
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1		⑫	材料使用量の削減	
			2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用	
			2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
			2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
			2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
			2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点		2.9			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
				2.1.2	⑯	免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑰	電気設備	
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点		3.0			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> </ul>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり	
				3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点		2.9			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> </ul>	Q-3	1			⑥	生物環境の保全と創出	
		2			⑥	まちなみ景観への配慮	
		3	3.2			⑥	敷地内温熱環境の向上
	LR-2	2	2.5			⑫	持続可能な森林から産出された木材
	LR-3	2	2.2			⑮	温熱環境悪化の改善

# CASBEE®-建築(新築)2021年SDGs対応版

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築新築2021年SDGs対応版 評価版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熱海ホテル計画	階数	地上9F
建設地	静岡県熱海市中央町375-4、375-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	154 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 予定	評価の実施日	2024年6月25日
敷地面積	3,159 m <sup>2</sup>	作成者	富田 岳
建築面積	1,023 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月25日
延床面積	7,330 m <sup>2</sup>	確認者	富田 岳



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 83% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 83%

④上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

\* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者が快適に過ごせるよう室内環境やサービス性能の向上に努めるとともに、LED照明設備等の採用により省エネルギーについても考慮し計画をした。 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果です。	0
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面に採用し、客室の開口部は開口部遮音性能T-2以上のサッシとして遮音性に配慮した	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に可能な限り緑を設置した
<b>LR1 エネルギー</b> BPIm=0.94 BEIm=0.80	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車スペースを確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される